

湖南圏域2025年医療福祉推進協議会 病床機能の分化・連携に関する懇話会

令和元年6月10日(月) 14:00~15:30
南部合同庁舎 本館1-B会議室

構成機関団体：

一般病棟・地域包括ケア病床をもつ圏域7病院

医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院、社会医療法人誠光会 草津総合病院、医療法人芙蓉会 南草津病院、滋賀県立総合病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院、社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院、医療法人社団御上会 野洲病院

地域医師会

草津栗東医師会、守山野洲医師会

計9機関

1. 目的：H30年度協議会の議論を踏まえ、一般病棟・地域包括ケア病床を有する病院および医師会が、病床機能のデータや分析試算等を共有し、各病院の提供する医療の現状や認識、実態を共有する。
定量分析に関する病院の考えを共有する。

2. 開催結果の概要

- ・定量分析結果をふまえ、各病院の医療機能の認識や実態、それらに対する考えを共有した。
- ・自病院の実態に近い状況を表す分析方法は、病院により異なっていた。
- ・定量的基準はあくまでも議論の目安であるが、もう少し他の方式やデータを今後見ていく。
- ・湖南圏域の医療機能の実態を表すパラメーターや、しきい値等については、病院から意見を出してもらう。

～意見交換の発言より～

- ・急性期の捉え方、考え方を見直す機会となった。がん医療、手術、救急の取組みが高度急性期、急性期に影響している
- ・患者の重症度評価の影響も大きいのではないか
- ・都会や他の地域とは違った特徴（例えば小児分野の増加）があるのではないか
- ・回復期においては、在宅へ、また施設へ移行していくための受け皿が課題と思う
- ・3つの方式どれも湖南圏域内の病院の実態を表しているとはいえない印象をもった

出席者：12名

：近江草津徳洲会病院（梶原病院長）、草津総合病院（平野病院長、吉村）南草津病院（遠藤理事長）、県立総合病院（一山病院長）、済生会守山市民病院（野々村病院長）、済生会病院（籠谷氏）、野洲病院（岡田病院長）、守山野洲医師会（衛藤会長）、草津栗東医師会（中嶋会長）福田座長（守山野洲医師会監事）、草津保健所（荒木所長）

3. 今後の予定等について

- ・懇話会の目的は、各病院の機能を相互に知ることとし、国からデータが示された後、懇話会において共有しながら、湖南圏域の医療提供体制の検討を進める。
- ・次回開催予定（令和元年11～12月頃）